

1. 授業の概要(ねらい)

国際コミュニケーションⅡ－Ⅰ（ロシア語）からの続きである。毎回復習しながら、着実に進んでいく。

2. 授業の到達目標

1. 簡単な意思表示ができるようになる。
2. 様々な会話表現を習得する。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加態度20%、授業内小テスト40%、期末テスト40%。

4. 教科書・参考文献

教科書

黒田龍之助著 『ニューエクスプレスプラス ロシア語』（白水社）

5. 準備学修の内容

テキスト付属のCDを繰り返し聴いて、音に慣れること。またNHKのテレビ講座やラジオ講座を積極的に視聴すること。

6. その他履修上の注意事項

授業には原則として全回出席すること。授業で学んだことは必ず復習すること。また、質問は授業内に、原則として授業の進捗に即したものについて行うこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 春期学習内容の復習Ⅰ（第11課～第13課）
- 【第2回】 春期学習内容の復習Ⅱ（第14課～第15課）
- 【第3回】 第16課「紅茶はふつうミルクを入れて飲みます」（名詞造格の用法）
- 【第4回】 第16課「紅茶はふつうミルクを入れて飲みます」
- 【第5回】 第17課「日本料理店でアントンを見かけました」（形容詞の格変化）
- 【第6回】 第17課「日本料理店でアントンを見かけました」
- 【第7回】 復習（名詞・形容詞の格変化）
- 【第8回】 第18課「それがアントンでないとどうして分かるのですか？」（動詞の完了体と不完了体）
- 【第9回】 第18課「それがアントンでないとどうして分かるのですか？」
- 【第10回】 第19課「捨てるのなら手伝います」（完了体動詞の未来表現）
- 【第11回】 第19課「捨てるのなら手伝います」
- 【第12回】 第20課「もし私が鳥だったら」（仮定法）
- 【第13回】 第20課「もし私が鳥だったら」
- 【第14回】 復習
- 【第15回】 まとめとテスト